

機関名: (地独)北海道立総合研究機構水産研究本部

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成25年1月～3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ニシン: 群来確認(後志北部)</li> <li>●マダラ: 2月東しゃこたん漁協では、前年同月の約6倍の水揚げ(後志北部)</li> <li>●ヤリイカ: 1月の前年同月の38倍(11トン)の漁獲量(檜山北部)</li> <li>●岩ノリ: 1月の数量が前年同月の4倍(檜山北部)</li> <li>●スケトウダラ: 1月の漁獲量は前年同期の2.8倍(3,020トン、檜山南部)</li> <li>●マイワシ: 1月群れ確認(留萌北部)</li> <li>●サクラマス: 前年の7倍の漁獲量(17トン、檜山北部)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●トドの群れを確認(檜山北部)</li> <li>●トド・アザラシの来遊時期が例年より遅れた(留萌南部)</li> <li>●流水の早期接近・接岸(稚内)</li> <li>●水温: 平年より2.4～3°C低かった(渡島～留萌北部・礼文)</li> <li>●網走の早期海明(網走東部)</li> <li>●斃死したカレイやカジカが野付沖のほたてがけに桁網や底置網に入網した(標津)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●稚ナマコ種苗生産: 25万個の生産見込み(昨年の5倍、奥尻)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●トド・アザラシによる底建網等の被害発生(後志南部)</li> <li>●時化の日が多かった(檜山～留萌)</li> <li>●3月2日の爆弾低気圧による大時化でホタテ養殖施設に被害(後志南部)、流水再接近によりコンブ流出(稚内)</li> </ul>

機関名: (地独)青森県産業技術センター水産総合研究所

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成25年1月～3月	特になし	特になし	特になし	特になし

機関名: 秋田県水産振興センター

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成25年1月～3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>●マイワシの1～3月期の漁獲量は、2003年には19.7トン、2004年以降は激減し0.5トン以下で推移していたが、本年は6.6トンと著しく増加した。</li> </ul>	特になし	特になし	特になし

機関名: 山形県水産試験場

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成25年1月～3月	特になし	<ul style="list-style-type: none"> <li>●加茂港の定地水温が2月下旬の平均値で4.9°Cであった。1953年以降の2月下旬の水温の平均値は7.6°Cで、本年は最も低い旬平均値であった。</li> </ul>	特になし	特になし

機関名: 新潟県水産海洋研究所

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成25年1月～3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>●寒ブリの不振: H24.10～H24.2までの間のブリ(小～大ブリ 1.7kg以上)の両津湾主要定置の漁獲量176t(前年比13.5%、10ヶ年平均比36.6%)</li> </ul>	特になし	特になし	特になし

機関名: 富山県農林水産総合技術センター水産研究所

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成25年1月～3月	特になし	特になし	特になし	特になし

機関名: 石川県水産総合センター

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成25年1月～3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>●石川県主要10港定置網のブリ銘柄(4kg以上)の1-3月漁獲量は508トン(速報値)で平年(10年平均:312トン)の163%と、1995年以降では2011年(1,303トン)に次ぐ好漁であった。</li> <li>●マイワシが2月から定置網とまき網で好漁となり、石川県主要10港の1-3月漁獲量は6,053トン(速報値)で平年(10年平均:1,411トン)を大幅に上回った。</li> </ul>	特になし	特になし	特になし

機関名: 福井県水産試験場

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成25年1月～3月	特になし	特になし	特になし	特になし

機関名: 京都府農林水産技術センター海洋センター

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成25年1月～3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>●3月に入り定置網によるマイワシの漁獲量が急増した。1～3月の漁獲量は529トンで、昨年同期の3.7倍であった。漁獲の主体は体長18-19cmの3歳であった。</li> </ul>	特になし	特になし	特になし

機関名: 兵庫県農林水産技術センター但馬水産技術センター

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成25年1月～3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>●定置網でマイワシの漁獲が多かった。</li> </ul>	特になし	特になし	特になし

機関名: 鳥取県水産試験場

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成25年1月～3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>●境港のまき網は、例年より早く2月からマイワシの豊漁が続き、1～3月末で13,000トンの水揚げがあった。単月では、2月4,700トン(1997年以降で最高)、3月8,300トン(1996年以降で最高)</li> </ul>	特になし	特になし	特になし

機関名: 鳥取県栽培漁業センター

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成25年1月～3月	特になし	特になし	特になし	特になし

機関名: 鳥根県水産技術センター

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成25年1月～3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>●2月、3月とマイワシ漁が活発となり、まき網漁業を中心に月数千トン程度の水揚げがあった。1月～3月期の漁獲量は平年(過去5ヶ年平均)の10倍以上となる見込み。(現在集計中)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●1月の重雲の水温は、平年より1.1°C低かった。この現象は20年に1回の発生確率である。</li> </ul>	特になし	特になし

機関名: 山口県水産研究センター

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成25年1月～3月	特になし	特になし	特になし	特になし